

Canon MJ 通信

～第57期中間報告書～

2024年1月1日 ▶ 2024年6月30日

「想いと技術をつなぎ、
想像を超える未来を切り拓く」
飛躍的成長に向けて

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

代表取締役社長 足立 正親

株主の皆さまには、日頃より温かいご支援を賜り、誠にありがとうございます。

当中間期における当社グループの業績は、企業の積極的なIT投資が継続する中で、ITソリューション事業が好調に推移したこと等により、売上高は前年同期比161億円増収の3,189億円となりました。営業利益については、今後の成長に向けたIT投資等の販管費の増加により、前年同期比11億円減益の260億円となりました。

上期までの実績を踏まえ、当年度の中間配当金は1株あたり60円（前中間期比10円増額）とし、年間配当金は1株あたり120円（前期と同額）を予定しております。

当社はこれまで進めてきたITソリューション事業の成長に加え、昨年10月のTCS株式会社のグループ入り、3月の株式会社プリマジェストのグループ入り等により、成長を加速させてきました。この結果、ITソリューション事業を中心に期初の想定以上に好調に推移し、当年度の売上予想を上方修正しました。今回の修正により、長期経営構想にて2025年の目標として掲げている、当社グループの売上6,500億円とITソリューション事業の売上3,000億円を1年前倒しし、2024年での達成と4期連続の増収増益を目指してまいります。

また、7月24日に自己株式の公開買付けを行うことを取締役会にて決議しました。今回の公開買付けの目的は、流通株式比率の向上と株主資本の圧縮によるROEおよびPBR等の資本効率の向上、ならびにEPS等の収益性の向上を図ることです。

今後も、成長投資を継続的に行い、そこから生み出したキャッシュを、さらなる成長投資と株主還元にあてることで、資本効率の向上と株主還元の充実を図ってまいります。

当社グループは未来マーケティング企業として、パーパス「想いと技術をつなぎ、想像を超える未来を切り拓く」に向けてグループ全社員が一丸となり、皆さまからのご期待にお応えすべく、飛躍的成長に向けて変革を進めてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、一層のご支援・ご指導を賜りますようお願い申し上げます。

Purpose

キヤノンマーケティングジャパングループが、パーパスに込めた想いと「未来マーケティング企業」として描く未来

当社グループは、持続可能な社会の実現のために、マーケティングの力で未来を創る「未来マーケティング企業」を宣言し、キヤノンMJグループの社会的存在意義を定めたパーパス「想いと技術をつなぎ、想像を超える未来を切り拓く」を制定しました。

「私たちはなぜ存在するのか」「どんな社会をつかっていきたいのか」といった社会的存在意義を示すパーパス。今回、パーパス経営研究の第一人者である京都先端科学大学教授、一橋大学ビジネススクール客員教授 名和 高司氏とキヤノンマーケティングジャパン代表取締役社長の足立が、パーパスに込めた想いとこれからについて対談を行いました。

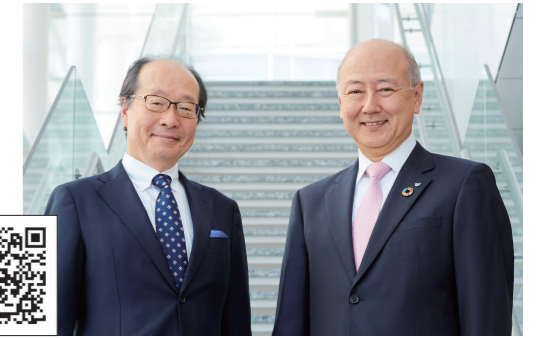
対談では、当社グループの「総合力」を表現した未来につなげるパーパスを制定したこと、新規事業創出と既存事業拡大を未来志向で推進すること、そしてパーパスを道しるべに「未来マーケティング企業」として価値を創出していくことなどを語りました。

対談の詳細は、当社グループの「いま」と「未来」を、想いととも伝えるメディア「ミライアングル」に掲載していますので、ぜひご覧ください。



想いと技術をつなぎ、
想像を超える未来を切り拓く

もっと詳しく知りたい方はこちら



Products

オンラインコミュニケーションをサポートする装着型減音デバイス“Privacy Talk MD-100-GY”を発売

働き方やライフスタイルの変化に伴い、コミュニケーションの手段も多様化しています。ビデオ通話などのツールが普及したことで、さまざまな場所や環境でのオンラインコミュニケーションが可能になる一方、声を発する際には周囲への配慮が必要だったり、周りの雑音が会話の妨げになったりと、いつでも快適なコミュニケーション環境を整えられるわけではありません。そんな中、当社の企業内起業「ichikara Lab (イチカララボ)」は、オンラインコミュニケーションをもっと自由に、快適にできる環境の実現を目指して商品化のプロジェクト活動を行い、さまざまな場所や環境で快適なオンラインコミュニケーションをサポートする装着型減音デバイス“Privacy Talk MD-100-GY”を発売しました。



サポートする装着型減音デバイス“Privacy Talk MD-100-GY”を発売しました。

“Privacy Talk”は、イヤホン・マイク・ファンを搭載した減音効果のある装着型の減音デバイスです。装着時に発した声を減音し、周囲の雑音を軽減するほか、換気用ファンの搭載により通気性を確保しています。オフィスやカフェなど幅広いシーンで快適なオンラインコミュニケーションをサポートします。

「ミライアングル」では、本プロジェクト立ち上げの背景やプロダクトに込めた想いなどプロジェクトの裏側をご紹介します。ぜひこちらもご覧ください。

もっと詳しく知りたい方はこちら



IT Solution

映像ソリューションにより、お客さまの業務プロセス改革とDX推進を支援

当社グループは、2025年ビジョンとして「社会・お客さまの課題をICTと人の力で解決するプロフェッショナルな企業グループ」を掲げ、ITソリューション事業を中核とした企業への変革を進めています。当社ではITソリューションの事業における成長の中核として、イメージング技術にAIなどの先端技術を掛け合わせた映像ソリューションにより、幅広い業種・業態のお客さまのDX推進と業務プロセス変革を支援しています。

多拠点で多数のネットワークカメラを保有する企業では映像の業務活用が進む一方で、カメラ台数の少ない小規模拠点で導入する際には、専用ゲートウェイの設置スペースの確保や費用の低減が課題となっていました。このたび、当社とキヤノングループであるArcules Inc. (アーキュールズ) は、Axis社製のネットワークカメラと連携することで、専用ゲートウェイを導入せず直接クラウド映像プラットフォームへ映像データを送信し、管理・閲覧が可能な新機能を「VisualStage Pro」に追加し、提供を開始しました。さらに、映像AI解析機能により映像検索にかけていた時間が大幅に短縮され、企業の業務プロセスを効率化し、よりスムーズな運用を実現します。

これまで、セーフィー株式会社が提供する従来の屋外用カメラでは、映像内でモノや人に動きがあった場合にリアルタイム検知・通知を行ってききましたが、さらなる防犯効果の向上を目的に、屋外で人物のみに特定した検知を行いたいとの声が寄せられていました。当社とセーフィー社は、Axis社製カメラに人の動きのみに特化した検出・通知を行う、エッジAI「人検知」機能を搭載し提供を開始しました。スマートフォンのプッシュ通知と、メールによるサムネイル画像で映像を簡単に確認でき、また膨大な録画映像の中から、検知した映像のみをサムネイル表示して検索することが可能なため、確認作業における負荷を軽減し生産性の向上を実現します。映像とクラウドを活用して屋外での不審行動や外部からの侵入に対する防犯強化を支援します。

Management

M&Aと資本業務提携等による企業価値の向上

当社グループは、お客さまにより付加価値の高い提案を行うためにターゲットと注力領域を絞り、当社グループに不足している、またはさらに強化したい機能やリソースの獲得に向け、M&Aや資本業務提携を進めています。また、さらなる持続的成長に向け、既存の事業領域にとらわれない新たな領域を開拓すべく、パーパス実現のための具体策の一つとして、2024年1月に「R&B (Research & Business Development) 推進センター」を立ち上げ、また、コーポレートベンチャーキャピタル (CVC) ファンドの「Canon Marketing Japan MIRAI Fund」を設立しました。潜在的な社会課題へのアプローチにあたり、産官学連携、特にスタートアップとの共創をより一層進めていきます。

これからも、資本効率と収益性を意識した投資を行い、そこから創出した利益を成長事業へ再投資するという好循環を継続させる持続的な企業価値の向上に取り組んでいきます。

2023年下半年以降のM&A・資本業務提携

2023年8月	2023年10月	2024年3月
●AWL株式会社と資本業務提携契約を締結	●東京日産コンピュータシステム株式会社 (現TCS株式会社) を子会社化	●株式会社プリマジェストを子会社化
●ドクターズ株式会社と資本業務提携契約を締結		

CVCファンド概要

名称	Canon Marketing Japan MIRAI Fund (登記名称: キヤノンマーケティングジャパン未来投資事業有限責任組合)
運用期間	2024年1月29日からの10年間 (予定)
投資対象	アーリー・ミドルを中心とした国内外の全ステージのスタートアップ
ファンド規模	100億円 (予定)
運用者	グローバル・ブレイン株式会社



本内容の詳細は、「統合報告書2023」をご覧ください。

Management

「健康経営銘柄2024」および「健康経営優良法人2024」に選定

当社は、「健康経営銘柄2024」に選定され、当社をはじめとする当社グループ9社が、「健康経営優良法人2024」に認定されました。

当社は、5年ぶり3度目の「健康経営銘柄」選定となり、社員一人ひとりのヘルスリテラシー向上と健康風土の醸成に向けた戦略的かつ継続的な取り組みが評価されました。

当社グループは、今後もマーケティングの力で未来を創る「未来マーケティング企業」として、健康経営を一層推進していきます。

もっと詳しく知りたい方はこちら



※「健康経営」は、NPO法人健康経営研究会の登録商標です。

Financial Highlights 業績ハイライト

各セグメントの売上高、営業利益をそれぞれ合計した数字は、「その他」の金額が含まれないため、円グラフ中央の売上高、営業利益と異なります。また、円グラフの構成比率は売上高構成比率を示しており、各セグメント別売上高の単純合計額をもとに算出しています。
※「その他」は、シェアードサービス事業およびセグメント間取引消去で構成されています。

(表示単位未満四捨五入)



プロフェッショナル

売上高 …… **249億円** | 前年同期比 **13.4%**

営業利益 …… **32億円** | 前年同期比 **10.8%**

プロダクションプリンティング、産業機器、ヘルスケアといった、各専門領域のお客さまを対象とした製品やソリューションを提供しています。

コンシューマ



売上高 …… **641億円** | 前年同期比 **3.3%**

営業利益 …… **52億円** | 前年同期比 **21.0%**

キヤノンの祖業であるカメラをはじめとするイメージング製品群・インクジェットプリンター等のキヤノン製品とキヤノンブランド以外のコンシューマユース向けプロダクトを、量販店やオンラインショップ等を通じて個人・法人のお客さまに販売しています。



エリア

売上高 …… **1,169億円** | 前年同期比 **0.3%**

営業利益 …… **96億円** | 前年同期比 **7.9%**

ビジネスパートナー、システムパートナーによる間接販売、キヤノンシステムアンドサポート(株)による直接販売からなる多様なチャネルを最大限に活かし、日本全国の中小企業のお客さま向けに、キヤノン製品やITソリューションを提供しています。

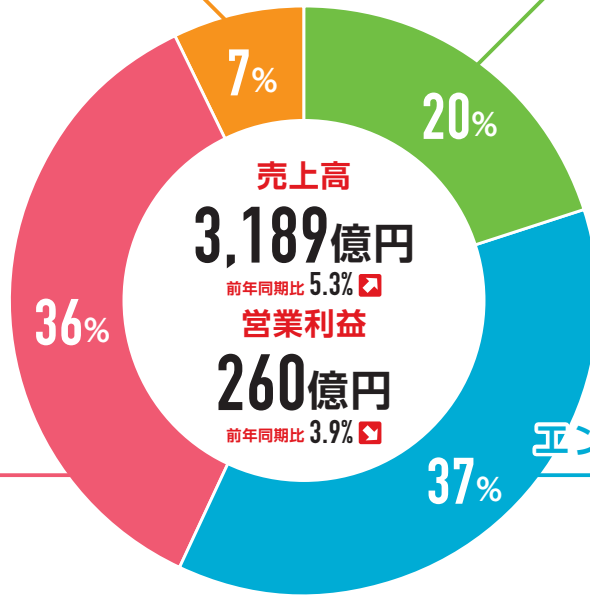
エンタープライズ



売上高 …… **1,196億円** | 前年同期比 **11.2%**

営業利益 …… **100億円** | 前年同期比 **1.5%**

大手企業、準大手・中堅企業のお客さま向けに、業種・業態ごとに異なる経営課題を解決するためのキヤノン製品やITソリューションを直接販売しています。



その他*

売上高 …… **△65億円**

営業利益 …… **△19億円**

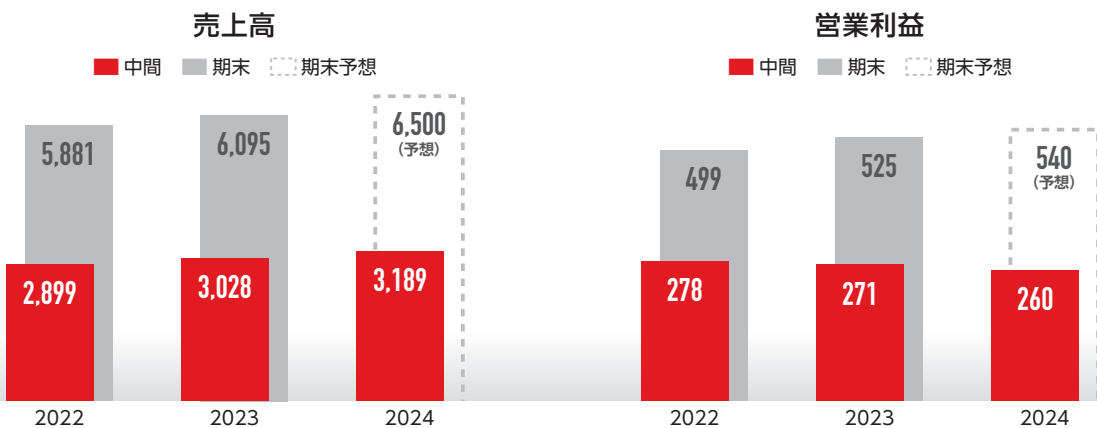


当中間期における業績の詳細をご覧ください。



売上高・営業利益推移

(単位:億円、単位未満四捨五入)



IRメールマガジンのご案内

IR情報をはじめ各種IRイベントや無料セミナー等のさまざまな情報をお送りしています。
「投資家向け情報」のトップページよりご登録ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

本社:〒108-8011 東京都港区港南二丁目16番6号

証券コード:8060



ユニバーサルデザイン (UD) の考えに基づいた見やすいデザインの文字を採用しています。